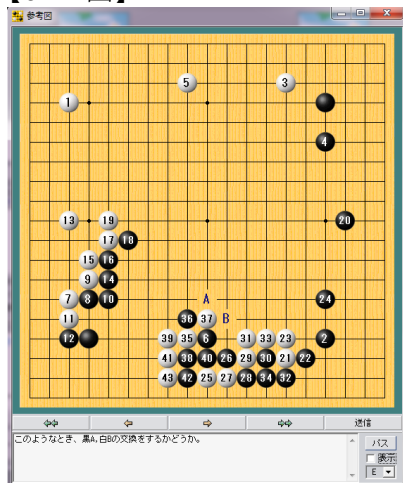


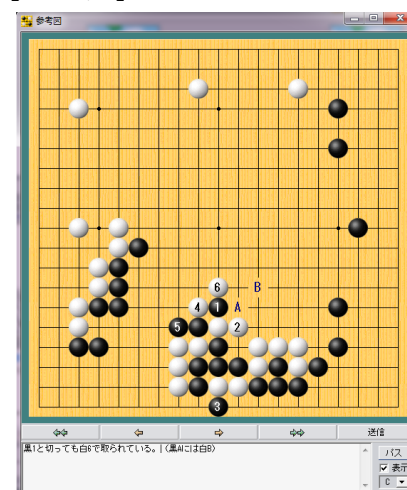
22. 三連星に入ってきた後のこと(1)

【62-1 図】



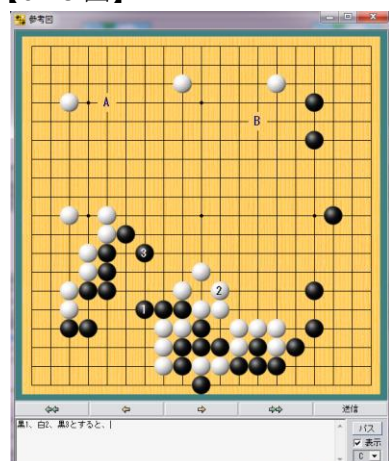
【62-1 図】 白小目からの典型的な手順で、下辺白 43 と押さえたとき、黒 A、白 B の交換をすべきかどうか検討した。前述したツケノビを出切ってくる手（ハマリのパターン 2 【51-2 図】）に対しては、A、B の交換が有効であるが、A の石は容易に取られてしまう。

【62-2 図】



【62-2 図】 黒 1 とあてた石は白 6 まで取られている。(黒 A には白 B) この後の進行として、【62-3 図】のように、黒 1、白 2、黒 3 とすると、白 A の絶好点を占められてしまう。

【62-3 図】



左下はほぼ黒地と考えてよいが、下辺右側の白は、そのまま生きていて、黒 B と模様の接点を占めても、ヨセ勝負の雰囲気である。そのため、【62-1 図】の黒 A は、ツケノビを出てくるまで、保留する方が良さそうである。